

## トピックス 米沢牛高値で取引 第58回米沢牛枝肉共進会が開催されました

年末年始に需要が高まる米沢牛を品評する枝肉共進会が12月7日に米沢市食肉市場で開かれ、置賜地域の生産者が75頭の枝肉を出品しました。

3月に地理的表示保護制度(GI)登録されたこともあり、販売総額は1億1554万円で、ふるさと納税の影響で最高を記録した平成27年に次ぐ売上高を

記録しました。1kg当たりの平均単価は3356円で、昨年同期に比べ235円上昇し、1頭当たりの平均金額も154万606円となりました。

置賜総合支庁では、米沢牛の生産拡大に向けて、繁殖和牛増頭を重点プロジェクトとして位置付けており、高品質な牛肉生産を支援していきます。



枝肉の審査・競り状況

◎農業振興課 0238-26-6053

## トピックス - たゆまぬ努力と功績をたたえて - 置賜で活躍されている皆さんが表彰されました

### ■山形県農林水産業賞

県内の農林水産業の振興に貢献した個人や団体をたたえる関係各賞の表彰式が11月16日にホテルメトロポリタン山形(山形市)で行われ、置賜からは2名が受賞しました。

「大高根農場記念山形県農業賞」を受賞された後藤隆英氏(飯豊町)は、長年にわたり農業に精励し、農業の生産性向上、経営改善、6次産業化の推進等に貢献されました。

また、「川村造林記念山形県林業賞」を受賞された沖田純夫氏(南陽市)は、国、県行政と連携して木質バイオマス発電の木材証明制度に関する合法木材認定制度の改変や「やまがた緑環境税」を活用した搬出支援への参画、木材利用ポイント事業の推進など常に業界の先頭に立ち尽力され、県産木材の需要拡大に貢献されました。



大高根農場記念山形県農業賞受賞者の皆さん(後列右から3番目が後藤氏)

◎地域産業経済課 0238-26-6041

### ■輝けやまがた若者大賞

地域活性化に寄与する若者の功績を顕彰する「輝けやまがた若者大賞」の賞状授与式が12月2日に洗心庵(山形市)で行われ、置賜からは2団体が受賞しました。

南陽青年会議所(南陽市)は、市内の児童等が絵を描き飾り付けた約3千個のランタンで夏夜を照らすイベント「あかり絵」を実施しており、子どもたちに「ふるさと」を意識させる取組みである点等が評価されました。

小玉川青年団イチコロ(小国町)は、雪を活用した巨大迷路「雪の中の大冒険」の開催や、伝統行事「小玉川熊まつり」の企画・運営を行っており、自分たちが楽しむための発想から、地域全体の取組みへと広がっている点等が評価されました。



賞状授与式での記念撮影(南陽青年会議所・右から3番目 小玉川青年団・左から3番目)

◎総務課連携支援室 0238-26-6021

### ■保健衛生関係功労者山形県知事表彰

保健衛生関係功労者山形県知事表彰式が11月28日に県庁で行われ、置賜からは8個人と3団体が受賞しました。

この表彰は、永年にわたり疾病予防、医療、栄養、食品衛生などの保健衛生業務に精励し、その発展向上に寄与した個人及び団体に対し授与するもので、式では、知事からこれまでの功績やご労苦に対し謝意を示すとともに引き続き県民の保健衛生向上への協力を依頼しました。



受賞者に感謝の言葉を述べる吉村知事

◎保健企画課 0238-26-6025

### ■山形県「木造建築伝承の匠」知事表彰

山形県「木造建築伝承の匠」知事表彰式が12月4日に県庁で行われ、置賜からは1名が受賞しました。この表彰は、木造住宅の建築に優れた技能を持ち、かつ、多年にわたり後継者を育成している方に贈られるものです。

杉本勉氏(米沢市)は、今日まで3人の弟子を育成するとともに、米沢建築組合連合会の支部役員を務めるなど、木造住宅建築業界の発展に寄与されました。



育成したお弟子さんも交えて記念撮影

◎建築課 0238-26-6090

## 事業報告 山形暮らし体験ツアー（置賜地域）の実施について



農業体験（収穫した「かぶ」の洗浄）

12月9日・10日に、山形暮らし体験ツアー（置賜地域）を実施しました。

「魅力的なしごとを紹介」をテーマに、移住に興味のある県外在住30歳から60歳代の個人、夫婦や親子など、9組13名が参加し、置賜3市5町を巡りました。

参加者は、若手就農者との情報交換など地元住民と交流を深めながら、ワイナリー見学、農業体験を行い、地

元でとれた食材を堪能し、地元の製造現場や研究施設の訪問を通して、電子材料や有機ELなど最先端の技術に触れました。

ツアーを通して、先輩移住者や地元の会社経営者から、移住後の仕事や生活のこと、移住から起業までの体験談など、移住に関する話を聞き、県内への移住を考えるヒントを得ていました。

☎総務課連携支援室 0238-26-6020

## 事業報告 高校生を対象とした魚道工事の体験施工

米沢市小野川町地内で進めている大樽川砂防事業魚道工事において、地元高校生を対象とした体験施工を実施しました。

これは、「魅力ある建設分野への若手人材啓発事業」の新たな取り組みとして、建設分野で働くことの魅力を感じてもらおうとともに、建設業への興味・関心を高めるため、（一社）山形県建設業協会米沢支部青年部の協力を得て行ったものです。

魚道のコンクリート打設、現地で採取した材料から植石を選定し設置するな

ど一連の作業を通し、自ら考え造る楽しみ、形あるものを残す喜びを実感する充実した研修となりました。



11月15日、22日 米沢工業高等学校 建設環境類土木コース3年生 7名



11月17日 置賜農業高等学校 食料環境課環境系コース3年生 6名

☎河川砂防課 0238-26-6086  
建設総務課 0238-26-2232

## 事業報告 米沢ヘリポートでテロ対応訓練を実施

ヘリポートを狙ったテロ事件に備え、関係機関の連携と有事における迅速な対応を図るため、12月7日に県が管理する米沢ヘリポートで不法侵入事案と航空機不法奪取事件への対応訓練を行いました。

訓練は、県、米沢市、米沢警察署、米沢消防署、指定管理者（東北警備保障株式会社）から計25名が参加して、爆発物を持った犯人がヘリポート内に侵入し、ヘリコプターを奪ってパイロット

を連れてくるよう要求したとの想定で行いました。不審者を発見してからの通報訓練、通報を受けてから現場への参集訓練、現地対策本部の設置訓練、ヘリポート内への車両誘導訓練、犯人の捕捉訓練について、一連の流れの中で確認を行いました。

実際の緊急時においても迅速・確実に対処できるよう、今後もあらゆる事態を想定し、安心して利用してもらえるよう繰り返し訓練を実施していきます。



訓練で警察が犯人を捕捉した様子

☎建設総務課 0238-26-2232

## 知って得する情報 ペットの災害対策

### ● 平常時・・・災害への備え

災害は突然起こります。いざというとき、一緒に避難し、ペットの安全を守るには、平常時からの備えと心構えが最も大切です。

#### <災害に備えて行すべき事>

- ・飼養ゲージを固定するなどの人に準じた安全対策
- ・家族や周囲の人たちとの災害に備えた話し合い
- ・ペットの十分なしつけと健康管理
- ・迷子札やマイクロチップなどの所有明示
- ・ペット用の避難用品や備蓄品の準備
- ・避難所の場所や避難ルートの確認



### ● 災害時・・・速やかな同行避難

まずは自分の身の安全を確保しましょう。災害時に動物を守るためには、まず飼い主が無事であることが大切です。また突然の災害ではペットがパニックになることがあります。落ち着いて避難しましょう。

#### <災害時に取るべき行動>

- ・第一に人とペットの安全確保
- ・ペットとともに避難する（同行避難）
- ・避難所における飼養マナーと健康への配慮



環境省作成パンフレット「飼う前も、飼ってからも考えよう」より

☎生活衛生課 0238-22-3750